

# 温度感の再判定シナリオ 設定方法

株式会社シャノン カスタマーサポート

# 事前準備

---

# 最新の温度感に合わせてリードを管理するためのリスト作成

キャンペーンはあくまで展示会時点での温度感です。展示会後に購買意欲が変化した場合に最新の温度感を管理するための箱(リスト)を作ります。

## 【STEP1 リストを登録】

[マニュアル](#)

1. 全キャンペーン管理モード(青色画面)にてステータス分のリストを作成します。
2. [リスト]タブ[一覧]から「新規作成」ボタンをクリックします。
3. [リスト名]に任意の名前を入れます。  
例:【○○展示会】COLDリード など

## 【STEP2 リストにリードを登録】

[マニュアル](#)

1. リストを作成後、各温度感のキャンペーンに登録されているリードを各リストに登録します。
2. [リード]タブ[複合検索]から右側画像のような検索条件を作成し、検索します。
3. 検索条件に該当するリードが表示されたことを確認し、「選択した行の操作」の真下にあるチェックボックスをクリックし全貢リード選択をします。
4. 「選択した行の操作」から[リストへ追加]をクリックします。
5. 「選択」ボタンをクリックし、該当リストを選択し「OK」します。

※作成したキャンペーン分、上記工程で設定しましょう。

# シナリオでメール送信ができるようにするメールテンプレート設定

送信ウィザード(一斉送信)で利用したメールテンプレートと同じテンプレートをシナリオ機能でのメール送信でも利用できます。まずは、利用できる状態にするための設定をしましょう。

## 【STEP1 メールテンプレートを編集】

[マニュアル](#)

1. [メール]タブ[一覧]から温度感別に初回アプローチするために作成したメールテンプレートの[編集]リンクをクリックします。
2. [基本情報]タブを開き、[用途]項目の「シナリオ用」のチェックボックスにもチェックをします。
3. 「登録」ボタンをクリックします。

### 管理情報

用途

☒ 送信ウィザード/ステップメール用 ☒ シナリオ用

※今回の展示会フォロー用に作成したメールテンプレートすべて、上記工程で設定しましょう。

**COLD⇒WARMに上がった際、  
自動フォローをするシナリオの実装**

---

# 工程①バッチ処理用の検索条件を作成

1. [リード]タブ[複合検索]にて  
「COLD⇒WARMに再判定される」検索条件を作成します。  
※右画像は一例です。
2. 検索してリード一覧が表示されたのち、  
[検索結果の操作]>[検索条件を保存(全ユーザ使用可)]をクリック  
して、任意の名前を入れます。  
例: 再判定: WARM判定リード など

こちらの例は、以下のような検索条件設定になります。

「COLDリードリスト」に登録されている  
かつ  
御礼メールを「開封」もしくは「記載 URLをクリック」

マニュアル

複合検索

検索条件

1. リスト

項目名	条件	値
リスト名	次の文字列と一致する	【==展示会】COLDリード

項目追加

☒ すべての条件に一致 ☐ いずれかの条件に一致

2. 個別メール開封

メール選択  
開封状況 ☒ 開封 ☐ 未開封  
選択方法 ☒ テンプレートから選ぶ ☐ ウィザード利用履歴から選ぶ  
テンプレート  選択

項目名	条件	値
開封日時	残り日数 (次の日数以内)	2

項目追加

☒ すべての条件に一致 ☐ いずれかの条件に一致

3. クリックカウント

項目名	条件	値
クリック日時	残り日数 (次の日数以内)	2 削除
メールテンプレートタイ	次の文字列と一致する	【==展示会・COLDリード】 削除

項目追加

☒ すべての条件に一致 ☐ いずれかの条件に一致

検索対象ブロックの追加:  追加

式: 1 AND (2 OR 3)

# 工程②シナリオを設定

マニュアル

展示会前に全稼働させておきましょう

1. [シナリオ]タブ[シナリオ一覧]より「新規登録」ボタンをクリックします。
2. 以下の設定をして「登録」します。※一例です

<設定値>

・繰り返し適用: 不可

・タイプ : バッチ

・スケジュール: 毎日10時以降

※条件に合致したリードにメールが配信される  
おおよその時間帯になります。

・検索条件: 工程①で設定した検索条件を設定

3. 「+」をクリックし、ステップを追加していきます。

<1つ目のステップの設定値>

・タイプ : アクション

・種別 : リスト除外

・待機期間 : 0日間

・リスト名 : COLDリードが格納されているリスト名を設定

<2つ目のステップの設定値>

・タイプ : アクション

・種別 : リスト追加

・待機期間 : 0日間

・リスト名 : WARMリードが格納されているリスト名を設定

<3つ目のステップの設定値>

・タイプ : アクション

・種別 : メール送信

・待機期間 : 0日間

・テンプレート: WARMリード用に配信するメールテンプレートを設定

※初回フォローでのメール配信と同じ設定をしましょう

再判定 : WARM判定リード



+



+



+



+



**WARM⇒HOTに上がった際、  
自動フォローをするシナリオの実装**

---



# 工程①バッチ処理用の検索条件を作成

1. [リード]タブ[複合検索]にて  
「WARM⇒HOTに再判定される」検索条件を作成します。  
※右画像は一例です。
2. 検索してリード一覧が表示されたのち、  
[検索結果の操作]>[検索条件を保存(全ユーザ使用可)]をクリック  
して、任意の名前を入れます。  
例: 再判定: HOT判定リード など

こちらの例は、以下のような検索条件設定になります。

「WARMリードリスト」に登録されている  
かつ  
御礼メール内の資料ダウンロードフォーム URLを「クリック」

マニュアル

複合検索

検索条件

1. リスト

項目名	条件	値
リスト名	次の文字列と一致する	【=】展示会 WARMリード

項目追加

☒ すべての条件に一致 ☐ いずれかの条件に一致

3. クリックカウント

項目名	条件	値
クリック日時	次の日数以内	2
メールテンプレートタイプ	次の文字列と一致する	【=】展示会・WARMリード
ターゲットURL	次の文字列と一致する	https://demo-support-ojl.sm

項目追加

☒ すべての条件に一致 ☐ いずれかの条件に一致

検索対象ブロックの追加: リード 追加

式: 1 AND 2

## 工程②シナリオを設定

マニュアル

展示会前に全稼働させておきましょう

1. [シナリオ]タブ[シナリオ一覧]より「新規登録」ボタンをクリックします。
2. 以下の設定をして「登録」します。※一例です

<設定値>

- ・繰り返し適用: 不可
- ・タイプ: バッチ
- ・スケジュール: 毎日10時以降
- ・検索条件: 工程①で設定した検索条件を設定

3. 「+」をクリックし、ステップを追加していきます。

<1つ目のステップの設定値>

- ・タイプ: アクション
- ・種別: リスト除外
- ・待機期間: 0日間
- ・リスト名: WARMリードが格納されているリスト名を設定

<2つ目のステップの設定値>

- ・タイプ: アクション
- ・種別: リスト追加
- ・待機期間: 0日間
- ・リスト名: HOTリードが格納されているリスト名を設定

### 再判定: HOT判定リード



## 工程③追加HOTリードを営業部に共有

展示会後のフォローによってHOTリードになったリードを、追加HOTリードとして営業部に共有しましょう。以下は、追加HOTリードの検索条件を作成し、CSVファイルをダウンロードする方法です。

1. [リード]タブ[複合検索]より右画像のように検索条件を作成します。
2. 検索して該当リードが表示されたのち、  
[検索結果の操作]>[CSVダウンロードメニュー]をクリックします。
3. ダウンロードしたい項目を設定し、CSVダウンロードを行います。

[マニュアル](#)

4. CSVファイルを営業部に共有し、個別フォローを行います。

こちらの例は、以下のような検索条件設定になります。

「HOTリードリスト」に登録されている  
かつ  
「HOTリードのキャンペーン」に 登録(申込)されていない

[マニュアル](#)

複合検索

検索条件

1. リスト

項目名	条件	値
リスト名	次の文字列と一致する	【=展示会】HOTリード

項目追加

☒ すべての条件に一致 ☐ いずれかの条件に一致

2. 申込

項目名	条件	値
キャンペーンタイトル	次の文字列と一致する	【=展示会】HOTリード

項目追加

☒ すべての条件に一致 ☐ いずれかの条件に一致

検索対象ブロックの追加: 申込 追加

式: 1 AND NOT 2